

縄文杉

荘厳な縄文杉は、屋久島で最古かつ最大の屋久杉です。この巨木は、標高 1300 メートルに位置し、樹高 25.3 メートル、周囲 16.4 メートルです。名前は、この木は縄文時代(およそ紀元前 10000～紀元前 300)にさかのぼると信じられており、それゆえこのような名前なのです。しかし、空洞のある木は正確な年代を定めるのは難しく、推定樹齢は 2000 年から 7200 年の間だとされています。近くにあるウィルソン株は、貴重な材木として 16 世紀に切り倒されましたが、縄文杉はでこぼこな形が理由で、伐採を免れました。

1968 年、岩川貞次という人物が縄文杉を発見し、屋久島の森を守ろうという動きが徐々に始まります。1970 年には、伐採地はすべて閉鎖され、観光客が増加しました。1993 年に屋久島が世界遺産に指定された後、縄文杉から 15 メートル離れたところに展望デッキが作られ、観光客が木に近づきすぎるのを制限するようになりました。この巨木は、大株歩道の端にあります。